

令和4年度 社会福祉法人慈久福社会 事業報告

報告にあたって

令和4年度は新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年となった。新型コロナウイルス感染症の発生から3年目を迎え爆発的な感染拡大の中、本園でもこれまでの感染対策では防ぎきれず2度のクラスターに見舞われた。感染者の施設内療養の支援と感染拡大防止に務めながら非感染者の日常支援にあたるなど、当たり前の介護が提供できない歯がゆさを痛感する一方、職員の感染により人員確保に大変苦慮した。また、感染拡大時には特に医療職の確保が課題となったことから、日常的に業務連携を図っておく必要があり、早速実施に移した。

やまさんにおいても、学校や複数の事業所を利用される利用者の感染リスクは非常に高く、利用者の感染や濃厚接触の連絡を受けるたびに、接触があった利用者、職員の抗原検査やセンター内の消毒を行い、感染防止に努めた。

次に慈久園では、利用者の高齢化や重度化が更に進み、医療的対応を必要とする方が増え、それぞれの専門病院への受診はもちろん、長期の入院等により転院された方2名、残念ながら逝去された方5名と、施設としては大変厳しい状況で在園者数が定数となることはなかった。

そして法人全体の課題として、社会的な労働力不足は本法人でも避けられず、多様な求人方法で職員確保に努めてきたが、令和5年度に向けた抜本的な改善はできなかった。次年度スタートに当たり、法人内で職員の応援体制を組むとともに、外国人労働者の積極的な雇用等、職員確保に向け継続して取り組んでいく。

1 新型コロナウイルス感染症対応

(1) 慈久園クラスター報告

隔離期間	7月20日～8月12日(24日間)	12月21日～1月17日(28日間)
感染者数	利用者15名(内、複数部屋7名) 職員15名	利用者8名(内、複数部屋7名) 職員11名
平均隔離日数	11.8日 (解除後も食思低下継続5名)	9.5日 (1名を除き7～8日間の療養)
対応等	隔離解除後の入院2名	入院1名、酸素使用1名 治療薬 点滴1名、服薬2名

・感染対策を取り毎週抗原検査を実施してきたが、感染初期無症状の職員から瞬く間に感染が拡大した。クラスター発生時は感染エリアを隔離し、専従の職員を配置した。隔離期間は全利用者の園内移動を制限、同性介護の一時停止、入浴支援を不定期とするなど日常生活に多くの我慢を強いる結果となった。

・複数部屋の利用者や介護度が高い利用者へ感染が高い傾向にあり、初期段階でいかに感染者を隔離するか、早急に対応の見直しが必要と考える。

(2) やまさんの感染状況

	生活介護	児童	備考
感染者	11名	7名	児童発達支援、放課後等デイサービスを3日間閉所した。 (7月22日～24日)
濃厚接触者(疑い含む)	19名	14名	
計	30名	21名	

・感染された利用者には毎日電話にて体調確認を行い、隔離解除後は利用にあたり抗原検査を依頼し、陰性確認後受け入れを行った。

・7月、子ども支援係休止後の再開時には、感染防止の点から積極的な利用案内を控えたことや、利用者自身の利用控えなどで稼働率としては大変厳しい状況だった。

(3) 特別休暇及び在宅勤務の付与状況

(延べ数)

職員自身の感染による付与	49名	326日
家族等が感染または濃厚接触等による付与	31名	126日
保育園等休園により出勤困難な職員に対し在宅勤務の対応	5名	16日
	計	468日

2 慈久園増築工事

自然災害が多発する近年、本園において水害対策は一番の懸案事項となっており、利用者全員の避難スペースの確保と、2階への避難手段としてエレベーターを設置した。これにより利用者全員の緊急避難が可能となった。

日常的には日中活動の場や行事にも活用し、利用者の生活空間が広がった。

3 各事業所利用状況

慈久園	在園率 95.7%	複数の長期入院、8名の退所(地域移行1名、転院2名、逝去5名)があった
やまさん 生活介護係	稼働率 89.3%	コロナ感染の影響、利用者入院による契約解除等による
やまさん 子ども支援係	稼働率 83.0%	
相談支援室 ホープ	プラン作成数 (昨年比) 107.4%	契約稼働件数 195件 〈内、新規計画 16件〉 モニタリング 476プラン 計画 163プラン
相談支援室 ブレス	プラン作成数 (昨年比) 143.0%	契約稼働件数 98件 〈内、新規計画 38件〉 モニタリング 192プラン 計画 144プラン

障がい者支援施設 慈久園

【総務係】

1 法人運営の円滑な継続

(1) 災害対策の強化

<障がい者支援施設慈久園増築による水害対策の強化>

増築工事期間	令和4年3月4日～令和4年7月15日
引渡年月日	令和4年7月15日
登記完了内容	(工事前) 1階 2442.92 m ² 2階 192.00 m ² (工事後) 1階 2475.31 m ² 2階 295.26 m ²

<防犯カメラ増設による障がい者支援施設慈久園の防犯対策強化>

増設月日	増設前	増設後
8月25日	施設内1台、施設外7台	施設内5台、施設外7台

(2) 適切な法人運営

<理事会、評議員会、監事会、評議員選任・解任委員会の開催状況>

監事会 令和4年6月1日	・令和3年度監査
第192回理事会 令和4年6月10日	・令和3年度事業報告並びに収支決算報告について ・令和3年度社会福祉充実計画について ・基本財産の処分について ・役員等報酬規程の一部改正について ・職員給与規程の一部改正について ・初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部改正について ・永年勤続表彰規程の制定について ・次期評議員会の開催日程並びに議案について
第85回評議員会 令和4年6月26日	・令和3年度事業報告並びに収支決算報告について ・令和3年度社会福祉充実計画について ・基本財産の処分について ・役員等報酬規程の一部改正について
第193回理事会 令和4年8月26日 (欠席 河野節子)	・社会福祉法人慈久福祉会 定款変更について ・各種委員会委員の報酬等に関する規程の一部改正について ・障がい者支援施設慈久園日中一時支援(日中預かり型)運営規程の一部改正について ・相談支援事業所ブレス運営規程の一部改正について ・令和4年度の永年勤続表彰者について ・次期評議員会の開催日程並びに議案について ・職員給与規程の一部改正について

理事会の決議の省略 令和4年9月27日	・評議員会の開催方法の変更並びに決議の省略について
評議員会の決議の省略 令和4年10月13日	・社会福祉法人慈久福祉会 定款変更について
第195回理事会 令和4年12月5日	・令和4年度 第1次補正予算について ・職員給与規程の一部改正について
第196回理事会 令和5年1月26日	・弔慰規程の一部改正について
第197回理事会 令和5年3月9日	・令和4年度 第2次補正予算について ・令和5年度 事業計画並びに収支予算について ・社会福祉法人慈久福祉会 定款変更について ・地域生活応援センターやまさん運営規程の一部改正について ・職員就業規則並びに職員給与規程の一部改正について ・初任給、昇格、昇給等に関する規則の一部改正について ・地域生活応援センターやまさんの土地の購入について ・次期評議員会の開催日時並びに議題及び議案について
第87回評議員会 令和5年3月19日 (欠席 岡野成正) (欠席 内藤裕幸)	・令和4年度 第2次補正予算について ・令和5年度 事業計画並びに収支予算について ・社会福祉法人慈久福祉会 定款変更について

(3)資産の適正管理

<助成金活用状況>

交付決定月日	事業内容	交付決定額
5月6日	福岡県障がい分野のロボット等導入支援事業	836,000円
11月4日	IT導入補助金事業	285,000円
12月21日	赤い羽根共同募金配分事業(令和3年度申請分)	3,000,000円
1月4日	新型コロナウイルス感染症に係る障害福祉サービス事業所等に対するサービス継続支援事業	2,696,000円
1月11日	節電プログラム促進事業(経済産業省)	200,000円
1月13日	福岡県社会福祉施設等物価高騰対策支援金	2,450,000円
2月3日	みやま市地域社会福祉施設等物価高騰対策支援金	50,000円

<基本財産の処分>

処分承認月日	処分物件	処分理由
7月27日	みやま市瀬高町松田字那幸畝 2116 番 599.00 m ²	売却検討のため

<固定資産の地目変更>

登記完了月日	所在地	変更前	変更後
4月12日	みやま市瀬高町文廣字藏舛 1920 番	田	雑種地
	みやま市瀬高町文廣字藏舛 1921 番	田	雑種地

<定款変更>

認可月日	変更条文	変更理由
11月16日	第31条(資産の区分)第2項	基本財産処分、慈久園増築など
(3月申請)	第1条(目的)第1項	特定相談支援事業の開始(ブレス)

2 職員確保と育成

(1)職員確保の取組強化

<入職者及び退職者の状況>

(名)

	正規職員 基本職	正規職員 限定職	定年再雇 用職員	準職員	パート 職員	専門 パート	計
入職者	3	2	-	3	4	3	15
退職者	5	2	1	1	5	0	14

<職員状況>

令和5年3月31日現在 (名)

	正規職員 基本職	正規職員 限定職	定年再雇 用職員	準職員	パート 職員	専門 パート	計
慈久園	33	6	1.5	7	10	16	73.5
やまさん	13	1	3	0	13	0	30
ホープ	3	0	0.5	0	1	1	5.5
ブレス	1	0	0	0	0	0	1
計	50	7	5	7	24	17	110

※令和5年3月31日付け退職者を差し引いた人数

3 職場環境の向上

(1)働きやすい環境作り

<年休等の取得状況>

	慈久園	やまさん	相談支援室	計
年休取得率	73.0%	69.7%	58.8%	71.3%
5日以上の年休取得率	100%	100%	100%	100%
リフレッシュ休暇取得率	92.7%	92.6%	100%	93.0%

・令和3年度と比較し、法人全体の年休取得率7.1%増、リフレッシュ休暇取得率6.3%増であった。5日以上の年休取得率は、令和3年度同様100%であった。

<就業規則等の見直し状況>

改正月日	改正規則等	改正内容
6月10日	職員給与規程	緊急対応手当の支給範囲を明記等
6月10日	初任給、昇給、昇格に関する規則	初任給の決定方法を明記
8月26日	職員給与規程	ベースアップ等支援加算手当の新設
12月5日	職員給与規程	定年再雇用職員の給与決定方法の変更
3月9日	職員就業規則	夜勤等の勤務時間の変更
3月9日	職員給与規程	住宅補助手当等の新設、各種手当見直し
3月9日	初任給、昇給、昇格に関する規則	初任給の変更(引き上げ)

・各種規程の変更等に伴い、5月、7月、12月、3月に職員説明を行った。

【支援調整係】

1 短期入所の円滑な受入対応

<短期入所利用実績> 平均利用者数 1.37名/日、稼働率 45.7%、新規契約者 3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用日数(日)	43	50	59	48	0	56	56	67	31	2	27	61	500
利用者数(名)	12	11	20	14	0	15	20	23	9	1	8	23	156

・感染状況により受け入れ調整を行ったが、特に、7月、8月、12月、1月は、慈久園内での集団感染により受け入れ制限を強化した。

<利用実績のある利用者の年齢別状況>

令和5年3月31日現在(名)

	18歳未満	18~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~65歳	計
男性	0	8	3	3	2	1	17
女性	3(1)	4	1	1	0	2(1)	11(2)
計	3(1)	12	4	4	2	3(1)	28(2)

※()は、令和4年度の契約解除者の人数

<利用実績のある利用者の障害支援区分別状況>

令和5年3月31日現在(名)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
障害者	0	4	4	5(1)	2	10	25(1)
障害児	0	0	3(1)	-	-	-	3(1)

※()は、令和4年度の契約解除者の人数

【防災・防犯・感染症対策等推進会議】

1 感染症事業継続計画の作成

・近年の甚大な自然災害や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえ、昨年度より本会議を設置し、各種訓練や研修、感染予防対策等を推進した。特に、新型コロナウイルス感染症対策として、みやま市及び近隣市の感染状況の把握により感染対応レベルの検討、周知を図った。

・7月、12月に慈久園内での集団感染が発生し、感染対応の課題を踏まえ、現「新型コロナウイルス感染発生時における事業継続計画」の見直しを進めている状況である。さらに、本計画がインフルエンザ、0-157などの感染症も含める計画へ見直し検討を進める必要がある。

2 慈久園(水害)避難確保計画の充実

・慈久園2階増築に伴い、避難確保計画(水害)を見直し、12月16日にみやま市防災対策室へ提出した。本計画に基づき、水害訓練や事業継続計画の検討を進めている状況である。

<実施状況>

4～5月	事業継続計画、避難確保計画等の説明、感染対応状況の確認
6～7月	増築後の緊急避難手順の確認、水害対策準備の確認
8～9月	感染症隔離対応時の課題共有、課題に対する改善方法検討
10～11月	水害時の緊急避難訓練時の状況確認、水害時の事業継続計画の作成検討
12～1月	避難確保計画をみやま市提出、感染症事業継続計画の変更内容の検討
2～3月	感染症事業継続計画の変更内容の検討、防災計画の変更内容の検討

【生活支援課】

<在園者数>

毎月1日の在園者数で表記 (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
在籍者数	60	60	60	60 (-1)	59 (-1)	58 (1)	59	60	59 (-1)	58 (-1)	57 (1)	58
在園者数	59	57	58	58 (-1)	57 (-1)	56 (1)	59	60	58 (-1)	56 (-1)	57 (1)	57
入退所	入0 退0	入1 退1	入1 退1	入0 退1	入1 退2	入1 退0	入0 退0	入1 退1	入0 退1	入0 退1	入1 退0	入0 退0

* () 表記は月内で動向があった数値 * 胃瘻交換の定期入院は含まず

<年齢別状況> 平均年齢 63.7 歳

(名)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
男性	1	2	0	6	12	6	2	29
女性	0	0	2	6	11	9	1	29
計	1	2	2	12	23	15	3	58

<障害支援区分別状況> 平均障害支援区分 5.77

(名)

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	1	4	24	29
女性	0	1	5	23	29
計	0	2	9	47	58

<園内行事>

(名)

	内容	参加人数
4月25日～5月31日	45周年合同ドライブ	54
6月7日	マイリンピック	57
7月14日	水害の日(2階内覧会)	55
9月15日	花火大会	38
10月12、13日	ひまわり祭り	59
1月1日	新年のつどい	53
1月27日	焼き芋会	47
計		363

・屋外や園内でできる行事を提案し楽しめる工夫を行った。ひまわり祭りでは増設した2階多目的室を使用しボッチャ大会を実施した。

<ゾーン日中活動取組状況>

	活動内容
4月	室内ベースボール・風船バレー・創作活動
5月	トランプ大会・風船バレー・日光浴・園内散歩・創作活動
6月	焼肉会・お菓子作り・カラオケ大会・創作活動
7月	茶話会・創作活動
8月	コロナ感染にて未実施
9月	ビンゴ大会
10月	ハロウィンパーティー・ボッチャ
11月	茶話会・おしゃれ・近隣散歩・居室環境整備・ハンドケア
12月	居室環境整備・カラオケ・ハンドケア・トランプ・クリスマス会
1月	福笑い・絵馬づくり・美容タイム・ハンドケア・トランプ・ボーリング・ボッチャ・風船バレー・環境整備
2月	豆まき・居室環境整備・創作活動・バレンタイン行事・風船バレー・癒しの時間(スヌーズレン)・ボッチャ・ハンドケア・クイズ・読み聞かせ・園内散歩・ボール遊び・日光浴・ハンドケア
3月	リズム体操・近隣散歩・食事会・ハンドケア・トランプ・カラオケ・ボッチャ

・利用者様の希望に沿い、各ゾーンで活動を考え実施した。1月のコロナ隔離後より3月までは入浴を週2回とし活動を充実した。

<サークル・ボランティア活動・作業等の活動>

	書道	朗読	健康体操	英会話	さをり織り	勉強会	計
実施回数(回)	8	13	9	11	11	11	63
参加人数(名)	51	118	205	296	80	30	780

※7月、8月、9月、1月は感染対策により中止

<外出状況>

外出状況	実施回数	参加延数	外出内容
近隣外出 (ドライブ含む)	10回	31名	みやま、大牟田、筑後方面 くすのもりアート、みやま市民祭り 船小屋 de 竹あかり、柳川さげもん
45周年外出	19回	54名	中山藤見、大川昇開橋、筑後広域公園 柳川沖の端散策
食事付外出	3回	11名	福岡ペイペイドーム(招待券利用)
デザート外出	4回	15名	さくらテラス、道の駅花見スイーツ
個人外出	8回	8名	美容室、ゆめマート、大牟田文化会館
計	44回	119名	

・感染対応に考慮しながら、気候のよい新緑の季節、桜花見に合わせ外出の機会を作った。

<受診、受薬状況>

(回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定期受診	7	11	8	6	6	11	12	12	10	7	16	14	120
定期受薬	10	10	9	10	11	6	5	3	6	10	5	4	89
臨時受診	13	13	10	9	15	6	9	12	12	9	7	15	130
計	30	34	27	25	32	23	26	27	28	26	28	33	339

・令和3年度の受診、受薬の件数は383件であり、感染予防対策の強化により電話での状況報告や受診の間隔を延ばしたり、受薬のみとしたことで件数は減少傾向となった。

<健康診断結果>

受診者 54名/59名(入院2名、透析1名、入所時データ2名)

有所見者数(名)

検査項目	胸部レントゲン	電解質	肝機能	血糖	貧血	脂質異常	CEA(腫瘍マーカー)	計
経過観察	10	10	4	1	2	11	9	47
血液検査	0	12	0	2	1	1	0	16
腹部CT	0	0	0	0	0	0	1	1

・対応状況…嘱託医診療 16名(血液検査)、専門医受診 3名(貧血・低K・CEA高値)

・利用者の病状や健康診断結果に伴う受診など必要に応じて、本人、家族へ丁寧な説明を行いながら、受診や処置の実施を行い、不安の軽減に努めた。新型コロナウイルス感染や体調の変化がある場合も家族へ定期的な報告などを行った。

地域生活応援センター やまさん

【生活介護】

1 安定的な運営

・新型コロナウイルスの感染症の影響や入院者も多く、病院受診で休まれる方もいた。また、現在、利用されている方の利用日数の見直しや相談支援事業所からの情報をもとに新規獲得に努めたが、利用率が伸びなかった。

<利用状況> (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総利用者数	360	363	366	344	347	337	355	363	373	339	316	335	4198
(医療的ケア)	(89)	(94)	(93)	(88)	(95)	(84)	(78)	(88)	(92)	(85)	(68)	(82)	(1036)
月平均数	13.8	14.0	14.1	13.2	12.8	12.9	13.6	14.0	14.3	13.6	13.2	12.4	13.5

<年齢別状況> (名)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
男性	5	4	4	4	1	18
女性	6	1	6	2	5	20
計	11	5	10	6	6	38

<障害支援区分> (名)

	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	3	1	14	18
女性	1	4	3	12	20
計	1	7	4	26	38

【子ども支援係】

<利用状況> (名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総利用者数	243	238	239	183	242	228	256	246	249	204	214	282	2824
(医療的ケア)	(85)	(79)	(65)	(58)	(89)	(71)	(87)	(78)	(81)	(77)	(59)	(97)	(926)
月平均数	8.6	8.5	8.5	6.5	8.3	8.1	9.1	8.7	8.5	7.8	8.0	9.7	8.4

《地域公益活動》

・7月から2月までの毎週水曜日にやまさん広場を開放し未来塾を開催。高田中学校3年生10名が、教職員OBの指導のもと志望校合格に向けて学業に取り組まれた。

相談支援センターホープ

(1) 基本相談の概況

①基本相談

実人数：障害者 126 名、障害児 5 名

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能	その他	計
障害者	20	0	20	66	7	1	14	128
障害児	0	0	3	1	0	0	1	5
計	20	0	23	67	7	1	15	133

②支援方法別件数

支援方法	件数
訪問	401
来所相談	96
同行	47
電話相談	952
電子メール	51
個別支援会議	4
関係機関	313
その他	6
計	1870

③相談内容

支援内容	件数
福祉サービス	547
障害や病状の理解	110
健康・医療	167
不安の解消・情緒安定	459
保育・教育	0
家族関係・人間関係	109
家計・経済	38
生活技術	119
就労	257
社会参加・余暇活動	84
権利擁護	1
その他	11
計	1902

《自立支援協議会》

・2/22 相談支援事業、就労支援部会について(報告)

《相談支援部会》

出席者：みやま市福祉課、南筑後保健福祉環境事務所、市内相談支援事業所（今年度 4 月社会福祉協議会相談支援センター開所、相談支援専門員常勤 2 名）

・4/26、6/21、10/18、12/20、2/28 に開催し、相談支援状況及びケース課題の報告やケース検討会、基幹相談支援センター開催の相談支援従事者研修会への参加等を行った。

《就労支援部会》

出席者：みやま市福祉課、大牟田公共職業安定所、障害者就業・生活支援センターほっとかん、市内就労移行支援事業所・就労継続支援 A 型事業所(サンビジネス、くすの木苑、ピート)、市内相談支援事業所

・9/27 就労支援部会設置経緯、及び部会の内容等について確認が行われた。

・1/11 上半期事業所の取組みの実績報告、令和 5 年度就労支援部会年間計画について

(2) 計画相談の概況

①計画相談

実人数：障害者 183 名、障害児 21 名

	身体障害	重症心身	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能	その他	計
障害者	65	1	66	63	5	0	2	202
障害児	0	1	10	0	13	0	0	24
計	65	2	76	63	18	0	2	226

②支援方法別件数

支援方法	件数
訪問	806
来所相談	216
同行	27
電話相談	2915
電子メール	106
個別支援会議	32
関係機関	1629
その他	0
計	5731

③相談内容

支援内容	件数
福祉サービス	3739
障害や病状の理解	44
健康・医療	413
不安の解消・情緒安定	716
保育・教育	2
家族関係・人間関係	96
家計・経済	112
生活技術	211
就労	101
社会参加・余暇活動	273
権利擁護	4
その他	63
計	5774

《交流ひろばの活用》

・おしゃべり café は、毎月 2 回(コロナ感染拡大時を除く)開催した。延べ 32 名の参加があり、談話や創作活動、ゲーム、タクティールケアなどを楽しまれた。

《つながる会》

- ・涼 (すずむい) 10/10 14:00～16:00、3 名参加、創作活動を楽しまれた。(送迎実施)
- ・暖 (あたたまる) 12/9 13:00～15:00、焼き芋と飲み物を振舞う。
 ホープ(142 件案内、26 名参加、12 名配達)、ブレス(85 件案内、16 名参加)
 悪天候やイベントが重なり参加者が少なかったので今後は開催時期を検討する。
- ・ホームページでイベントの案内や活動等の様子を随時お知らせした。

相談支援事業所プレス

令和4年4月～令和5年3月

○障害児相談支援 契約者数：121件(新規：40名、継続：74名、終了：7名)

○特定相談支援 契約者数：2件(新規2名)

○障害別 (名)

身体	知的	発達	重心	精神	計
7	11	100	1	2	121

○支援方法別 (件)

来所	電話	メール	訪問	同行	会議	関係機関	計
250	412	23	41	14	45	535	1,320

【各種委員会】

1 法人所管委員会

<衛生委員会>

- ・委員会 10回(4/4、5/2、6/6、7/4、9/5、10/17、11/7、12/5、2/6、3/6)開催した。8月、1月は園内でのコロナウィルス感染症発生により中止した。
- ・こころの栄養日として、9回(4/18、5/16、6/20、9/20、10/17、11/21、12/19、2/20、3/20)カウンセリングの機会に設け、30名が受けている。次年度は、受けたことがない職員へ声かけ、全職員に受けていただけるようカウンセリング機会を継続する。
- ・健康診断の結果により産業医面談を9名実施した。
- ・7月に職員へ職場環境改善に向けた聴き取り調査を実施し、職員82名からの回答を得て、意見に対する対応についての提案を行った。
- ・8月にストレスチェックを実施した。高ストレス者12名に対し、産業医面談を8名実施し、合わせてカウンセリングの提案も行った。

<広報委員会>

- ・外部委員会2回(6/26、3/5)、小委員会3回(5/20、10/24、11/28)開催した。
- ・ホームページに日中活動の様子や行事などを掲載し、6月、10月、11月、3月に情報更新を行った。新型コロナウイルス「陽性者」の確認についても随時掲載しお知らせした。
- ・広報紙「こすもす」、開園45周年記念紙を10月1日に発行、近隣の小中学校、民生委員などへ300部配布した。
- ・やまさん通信6月15日号、11月1日号(特別版)、1月31日号を発行した。6月15日号、1月31日号は岩津行政区、関係機関、特別支援学校などへ配布した。

・法人パンフレットの作成にあたり、近隣事業所等へ情報収集を行い、12月に太宰府市にあるライト兄弟合同会社と12月、1月に打ち合わせを実施し、3月の委員会の意見をもとに、現在作成を進めている。

<苦情解決委員会>

・苦情解決委員会を4/20に実施し、令和3年度の報告(苦情1件、相談2件、意見2件)及び、利用者アンケートでの意見と対応状況について報告した。意見が多い、トイレの待ち時間について、目安の時間、ゾーン間の応援体制など対応を図り、毎月の意見交換会にて確認した。改善傾向にはあるが依然、意見として聞かれている。

・相談の日を3回(7/20、10/19、3/8)開催したが、相談者は1名のみであった。年々、相談や苦情、意見が減少しているため、日常の中から利用者の想いをくみ取る努力が必要である。

・令和4年度は苦情2件、相談1件、利用者・ご家族からの意見、要望3件(やまさん1件)を受付対応した。掲示等が遅くなり、職員間への周知に課題が残った。

・やまさんでは外出希望が多く、入浴時間等を調整し、外出やレクリエーション活動の充実を図った。活動内容の見直しなど行い継続していく。

<虐待防止委員会>

・今年度より慈久園、やまさん、相談支援室を含め、法人全体で取り組み、外部委員会2回(10/9、3/19)に実施した。

・法人全体で、10月に職員セルフチェック、11月に早期発見チェックアンケートを実施し集計を行った。虐待防止研修として、障害者虐待防止法の理解と対応の読み合わせを12月、1月、2月に実施した。

・慈久園小委員会4回(5/27、7/5、8/25、2/17)、やまさん小委員会7回(5/11、6/7、7/5、9/5、11/9、1/12、2/2)、相談支援室小委員会2回(9/21、1/19)、合同小委員会2回(9/15、2/20)実施した。

慈久園	気になる言動のリスト・良いねリストの実施について対策等意見集約の内容確認し、具体的な対策を立て改善に取り組む。職員セルフチェック・早期発見チェックの具体的内容について対応策を検討し職員へ啓発する。
やまさん	虐待に対する共通理解を深め、不適切ケアに関するアンケート調査を行い、対応策を検討した。職員セルフチェックの具体的内容について対応策を検討し職員へ啓発する。
相談支援室	7/10に職員セルフチェックを実施、結果をもとに相談者への対応について振り返り、挙げた意見を検討し、今後の対策を確認した。2/20にその後の経過改善点、取り組みについて話し合いを実施する。

2 慈久園所管委員会

<入所調整委員会>

・新規入所案内検討として小委員会 7 回、外部委員会 6 回(4/20、6/16、7/20、9/16、3/8)、書面審議 1 回(2/2)開催し、現在の利用者状況の確認および待機者、新規入所案内について確認を実施した。

[入所] 6 名

5 月 18 日(大牟田市)、6 月 23 日(筑後市)、8 月 23 日(大牟田市)、9 月 23 日(大牟田市)、11 月 1 日(大川市)、2 月 13 日(柳川市)

[退所] 8 名

5 月 31 日(地域移行)、6 月 16 日(医療的ケア増加)、7 月 6 日(逝去)、8 月 1 日(逝去)、8 月 11 日(逝去)、11 月 28 日(本人希望)、12 月 24 日(逝去)、1 月 20 日(逝去)

・在園者/定員(58 名/60 名)の状況で、長期入院者が増え、待機者も少ない状況であるため、新規入所希望者の確保に向け、相談支援事業所や医療機関等との情報共有を強化する必要がある。また、入所案内後の慈久園の生活状況の確認なども継続して行っていく。

<安全対策委員会>

・新型コロナウイルス感染症により、今年度 2 回(7~8 月、12~1 月)の隔離対応が必要となった。その経験を踏まえ、初動対応や拡大防止対策の検討を行い、事業継続計画等の見直しを進めていく必要がある。

・エレベーターの設置等の建物増築に伴い、全利用者を対象に 2 階への避難訓練を実施し手順や所要時間等の確認を行った。今後、必要物品や生活支援スペース等を確認し、風水害緊急時に備える必要がある。

・外部委員会 1 回(4/18)、小委員会 10 回(5/23、6/20、7/18、8/22、9/20、10/17、11/22、12/19、2/14、3/20)実施した。

・火災避難訓練(5/30、11/9)、水害避難訓練(10/5)、防犯訓練(3/1)を実施した。また、水害の日(7/14)、震災の日(3/11)を実施し、災害について考える機会を作った。

[緊急連絡訓練実施状況]

電話連絡	7/19	9/29	12/7	1/24	3/23	-
伝達率	97%	88%	94%	92%	88%	-
メール連絡	5/15	6/25	9/5	10/28	12/2	2/24
受信率	98%	98%	98%	98%	96%	96%

<給食検討委員会>

・給食検討委員会を 5 回(5/26、9/15、10/13、12/9、2/16)、給食懇談会を 4 回(4/27、6/10、8/24、11/10)実施した。

・行事食については、委員会や懇談会、交流集会等での意見を参考に、利用者に喜んでいただけるよう工夫した。食への関心を持ってもらえるよう交流集会で旬の食べ物や季節を感じるメニューを伝え、ノンアルコール、ソフトドリンクを提供し特別感を出した。

- ・12～1月に実施した嗜好調査の結果を参考に、献立作成を行った。また、個々の健康状態や嚥下状態等による食事形態に関する意見についてはケース会議等で検討を行った。
- ・栄養補食食品の使用やとろみの使用者が増えており、その状況把握や課題の共通認識のため懇談会を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症等の影響により十分協議できず、次年度に課題が残った。

[行事食]

5月	45周年記念	ちらし寿司、すまし汁(茶そうめん)、フルーツ(マンゴー)
6月	マイリンピック	お弁当風マイリンピックランチ
7月	土用丑の日	うな井、ポテトサラダ、吸物(肝)
10月	ひまわり祭	コロコロステーキ、茶わん蒸し、芋天
1月	正月	おせち、雑煮
2月	節分	巻き寿司、刺身(まぐろ)
	鍋の日	寄せ鍋とカレー鍋のセレクト鍋
3月	ひな祭り	茶巾ご飯、サーモンマリネ、吸物(はまぐり)

<事故防止委員会>

- ・外部委員会1回(10/3)、小委員会6回(5/19、6/13、8/10、9/24、10/13、3/13)実施した。
- ・重大事故として、受傷3件(骨折2件、転落1件)、異物混入事故1件、離設(行方不明)1件発生し、受傷事故3件(左手第一指骨折、右第二指第一関節骨折、後頭部裂傷)と離設(行方不明)1件については、福岡県(南筑後保健福祉環境事務所)及び援護の実施機関、みやま市へ報告した。
- ・離設(行方不明)事故については、全利用者に係る定時の支援の確認や精神面、行動面で不安のある方、変化のある方への関り(職員間での情報共有を密にし、施設全体で生活行動を見守り、迅速な対応を行うことを確認した。異物混入事故については、外部委託業者、給食検討委員会、園内での対策等について検討し対応した。
- ・ヒヤリハット報告の件数が少なく、提出や回覧も遅れも課題となっている。来年度は職員間での気づきの共有や事故報告の迅速な報告、ヒヤリハット報告の見直し等を検討する。

[報告件数]

(件)

種別	服薬	食事	転倒	転落	受傷	酸素	その他	計
ヒヤリハット報告	2	21	6	6	10	4	8	57
事故報告	4	14	10	20	16	4	24	92

<身体拘束防止委員会>

- ・外部委員会2回(9/1、3/29)、身体拘束の状況確認会議を毎月実施した。
- ・対象利用者に関し、やむを得ず身体拘束を行う場合の3要件について再確認を行い、本当に拘束という対応が必要なのか再度、分析や見直しを行った。
- ・職員の身体拘束に関する知識向上のため、10月に職員研修を実施した。身体拘束に関する法制度や当園での取り組み内容に関して、職員の理解の底上げを図ることができた。

[身体拘束の状況]

(名)

身体拘束の内容	車いす関連 (ベルト、テーブル等)	ベッド柵	身に着ける もの(介護肌 着、ミトン等)	医療処置中 に四肢を押 さえる	発作時など のビデオ録 画	計 (対象者数)
R4. 4. 1	11	4	4	0	0	19 (12)
R5. 3. 31	9	3	5	1	1	19 (11)

3 やまさん所管委員会

<やまさん地域委員会>

- ・外部委員会 1 回(10/12)、内部委員会 4 回(4/30、5/26、11/3、2/16)開催した。
- ・12 月 17 日には、全体行事として近隣住民、高田中学校の協力のもと、「クリスマス会&餅つき会」を開催し、久々の交流を楽しまれた。

<事故防止委員会>

- ・内部委員会 6 回(5/11、6/4、7/5、9/7、11/10、11/23)開催した。
- ・ヒヤリハット報告件数が少ないため、7 月以降、手書き、口答での申し送りに変更した。当初は多く出ていたが、月を重ねるごとに意識が薄れ減少傾向であった。委員が中心となり、朝礼時や全体会議を活用して周知方法を検討する。

[事故報告件数]

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護係	4	0	3	0	2	6	4	3	0	1	3	2	28
子ども支援係	3	4	3	0	0	2	2	2	2	1	0	1	20

[ヒヤリハット報告件数]

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
生活介護係	1	1	0	9	5	1	3	5	2	1	1	1	30
子ども支援係	0	0	0	6	5	5	7	0	2	2	1	0	28

<身体拘束防止委員会>

- ・内部委員会 3 回(4/27、8/16、3/10)開催した。
- ・生活介護 13 名、放デイ 12 名を身体拘束としていたが、生活の中で必要となるベルト等については、姿勢の保持のため必要と判断し身体拘束から除外した。また、利用者の行動面等で職員側が危険回避を目的に使用する介助用ブレーキ、ミトン手袋等を身体拘束として位置付けた。今後、身体拘束防止指針の整備を行っていく。

[身体拘束の実施状況]

(名)

身体拘束の内容	腰ベルト	ミトン 手袋	介助用 ブレーキ	ハイロー チェア	アーム カバー	計 (対象者数)
生活介護係	1	0	3	0	0	4 (3)
子ども支援係	0	1	0	1	1	3 (3)

